# ８［評論］ 『なぜ若者は保守化するのか』

［１］　近年、①スポーツの世界で起きている流動化現象は、まさにグローバル化と呼ぶのにふさわしい。グローバル化とは、単に商品だけでなく、情報、資本、労働力などが国境を越えて自由に移動できるようになることだ。スポーツ選手は生まれた国がどこであろうと、運動能力が最も伸びる場所に行ってトレーニングし、その才能が最も活かされる国でプレーする。つまりスポーツの才能が国境を越え、ふさわしい場所を求めて移動するようになった。

［２］　これは工場や金融資産などの資本が、その利益を上げるのにもっともふさわしい国に移動したり、労働者が自分の才能が最も活かせる国に移動するのとそっくりである。というよりも②スポーツ選手は労働力の一種であり、スポーツコーチは資本の一種と考えると、経済のグローバル化の進展とともに、スポーツ界のグローバル化が進行するのも当然と言える。イチローや松坂がメジャーリーグに行ったり、相撲で外国人力士が優勝し続けるのも、労働に関する規制を緩和した結果、世界からその競技にふさわしい才能が集まることが容易になったからである。

［３］　［　　Ａ　　］スポーツ界はグローバル化を先取りしていたのかもしれない。イギリスのサッチャー首相が進めた金融ビッグバンが、「ウィンブルドン化」と呼ばれたのも、場所だけ提供して外国人に才能をａハッキさせる機会を与えるという点が同じだったからだ。

［４］　そこでオリンピックである。オリンピックは、国民国家時代の伝統を引き継ぎ、国籍主義をとっている。いくらある国が選手を一生懸命育てたりチームの一員としてプレーしていても、オリンピックでは出身国の選手として登場する（サッカー・ワールドカップも同じである）。［　　Ｂ　　］相撲がオリンピックの種目になっていれば日本はメダル一つ取れないだろう。人々はそれにｂイワカンを感じるとともに、まだ国民国家が健在であるというノスタルジーに浸ることで安心感を持つ。

［５］　［　　Ｃ　　］、今は「国籍」さえも選ぶことができる。自分を優遇してくれる国にｃキカすればよい。これは団体競技ではよく見られる。さすがにオリンピックの個人競技で国籍を変える選手はなかなか見られないのは、③選手や観客の内側にある心理的規制であろう。ワンジル選手がキカして日本人として金メダルを取ったと考えてみよう。われわれは複雑な気持ちを抱くに違いない。国籍まで変えてしまうのは、「国民国家」が存在しているという［　　Ｄ　　］を傷つけてしまうのである。

［６］　④このようなことが進展し心理的な規制がなくなって、国籍も簡単に変える選手が続出すれば、国内でどれだけ選手を優遇できる場を提供できるかがそのスポーツでメダルを取る条件になるだろう。国内選考にｄモれた選手は、自分を優遇してくれる別の国に国籍を変えて出場しリベンジをｅハカるようになっているかもしれない。そうなったときに、生まれ育った国にとどまらざるをえないわれわれは、オリンピックをどのような気持ちで見るのだろうか。

●語注

グローバル化＝企業や個人の活動が、国家の枠組みを越えて地球規模に拡大すること。

金融ビッグバン＝一九八六年、イギリスの証券取引所が行った証券制度の大改革。

ウィンブルドン＝ロンドン西南部の地域。国際テニストーナメント「ウィンブルドン選手権」が開催され、世界各地の有名選手が集まる。

ノスタルジー＝古いものに対するあこがれ。郷愁。

ワンジル選手＝北京五輪の男子マラソンで優勝した、ケニアのサムエル・ワンジル選手。日本の高校に留学し、卒業後も日本における陸上選手として活躍した。

■覚えておきたい語句

□12先取り…………………他人より先に事を行うこと。

□18健在……………………従来と変わりなく活動・存在していること。

□20優遇……………………手厚くもてなすこと。

□22規制……………………規則を定めて制限すること。

◆漢字　本文中の二重傍線部ａ〜ｅのカタカナを漢字に直せ。

ａ〔　　　　　〕　ｂ〔　　　　　〕　ｃ〔　　　　　〕　ｄ〔　　　　　〕　ｅ〔　　　　　〕

問１　傍線部①とあるが、その原因となったことがらを「から」に続く形で本文中から一五字以内で抜き出せ。（7点）

［　　　　　　　　　　　　　　　］から

問２　傍線部②とあるが、筆者は、なぜ選手を労働力、コーチを資本と考えるのか。「労働者」「資本」という言葉を用いて、七〇字以内で説明せよ。（8点）

　　〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

問３　空欄Ａ〜Ｃに入る言葉として最も適当なものを、それぞれ次から選べ。（3点×3）

ア　もし　　　イ　むしろ　　ウ　ゆえに　　エ　しかし　　オ　つまり

Ａ［　　　］Ｂ［　　　］Ｃ［　　　］

問４　傍線部③とはどのようなものか。最も適当なものを、次から選べ。（7点）

ア　オリンピックは、その国で生まれ育ち、共通の身体的特徴、言語を持つ選手が国の代表として出場するものだという考え。

イ　オリンピックは、もともとアマチュアの大会としてはじまったものだから、国籍を変えてまで勝利にこだわることはよくないという考え。

ウ　オリンピックは、国家の威信をかけて争うものなので、海外から選手を集めてきて勝ったとしても意味がないという考え。

エ　相撲のような国技といわれる種目で金メダルが取れないようなことになれば、国家の恥になるからかわいそうだという考え。

オ　国籍を変えてまでオリンピックに出れば、自分の国では能力が足りないからだということを周囲に示すことになるという考え。

　　〔　　　〕

問５　空欄Ｄに入る言葉として最も適当なものを、次から選べ。（5点）

ア　疑心　　イ　優越感　　ウ　希望　　エ　自信　　オ　幻想

　　〔　　　〕

問６　傍線部④とは何を指すか。本文中から一〇字程度で抜き出せ。【読みのセオリー】（7点）

　　〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

問７　本文の趣旨に合致するものを、次から一つ選べ。（7点）

ア　スポーツに政治や経済が介入することはよくないので、金メダルを取るために「国籍」を変えることは禁止にするべきである。

イ　スポーツ界はグローバル化しているが、オリンピックでは国民国家時代の伝統が人々の意識の中に残っている。

ウ　日本がオリンピックで金メダルを獲得する選手を育成するには、選手を優遇できるだけの財政基盤を持つべきである。

エ　相撲は日本の国技であり、その伝統を守るのは国家の使命であるので、相撲はオリンピック種目にしてはいけない。

オ　国民国家時代の伝統あるオリンピックは民族の祭典であり、それが外国人選手の活躍によって盛り上がりに欠けるようになってきたのは遺憾である。

　　〔　　　〕

【解答】

漢字　ａ発揮　ｂ違和感　ｃ帰化　ｄ漏　ｅ図

問１　労働に関する規制を緩和した（から）（13字）

問２　労働者とスポーツ選手は、自分の才能が最も活かせる国に、資本とコーチは、利益を上げるのにもっともふさわしい国に移動する点で同じであるから。（68字）

問３　Ａ＝イ　Ｂ＝ア　Ｃ＝エ

問４　ア

問５　オ

問６　スポーツ界のグローバル化（12字）

問７　イ

【読みのセオリー】

★指示語や接続語に着目する

　論理的な文章を読解するときには、指示語や接続語に着目し、筆者の論理展開に即して内容を読み取ろう。

　指示語は、前の部分を受けて話を進展させる働き、接続語は論理の進行方向を指し示す働きがある。

【現代文読解用語200】

問　次の空欄に入る適語をそれぞれ後から選べ。

63資本主義と社会主義の

　（　　）対立

64「急がば回れ」は（　　）

　の良い例と言える。

65異国にいるだけに一層

　（　　）を感じる。

66俳句と川柳では（　　）が

　異なっている。

67チャップリンの映画には

　（　　）が漂っている。

ア　パラドックス（逆説）

イ　ジャンル

ウ　ペーソス

エ　ノスタルジー

オ　イデオロギー

【解答】

63オ　64ア　65エ　66イ　67ウ

〔要　約〕

筆者がスポーツ界の現状をどのように捉えているかを説明している２段落と、オリンピックで選手が国籍を変えて出場することから生じる問題を提示している５段落を中心に要約する。

　　　　↓

　スポーツ界ではグローバル化が進んでいる。国籍主義をとっているオリンピックまで選手の流動化が進むと、国民国家が健在であることで安心感を持つ日本人は心理的に違和感を覚え、複雑な心情を抱くに違いない。（97字）

〈筆者＆出典〉山田昌弘（やまだ・まさひろ）一九五七（昭和32）年東京都生まれ。中央大学文学部教授。専門は家族社会学。親子・夫婦・恋人などの人間関係を社会学的に読み解く試みを行っている。主な著書に、『パラサイト・シングルの時代』『ここがおかしい日本の社会保障』などがある。本文は、『なぜ若者は保守化するのか』（東洋経済新報社、二〇〇九年）より。

☆「セオラム　補充問題」問題は次の３種類があります。

　＊差し替え　　　……　当該の問と差し替えるもの

　＊追加　　　　　……　同じ問いで追加された問題

　＊新問　　　　　……　追加が可能な新たな問題

＊新問

問　4行目「ふさわしい場所を求めて移動する」ことを何と呼んでいるか。本文中から5字で抜き出せ。

［答］　流動化現象（1行目）

＊新問

問　21行目「オリンピックの個人競技で国籍を変える選手がなかなか見られない」とあるが、その理由を最も端的に表現している一文の初めの5字を答えよ。

［答］　オリンピッ（15行目「オリンピックは、国民国家時代の伝統を引き継ぎ、国籍主義をとっている」）

＊新問

問　28行目「そうなったとき」とあるが、どのようになったときか。本文中のことばを用いて、25字以内で答えよ。

［答］　国籍を簡単に変える選手が続出するようになったとき。（25字）

■要約の方法　★各段落の柱の文をもとに各段落を要約する

《指示語の内容を明確にしながら、各段落の要旨をとらえる》

［１］　スポーツの世界で起きている流動化現象は、グローバル化と呼ぶのにふさわしい。

［２］　それは、労働に関する規制を緩和した結果、世界からその競技にふさわしい才能が集まることが容易になったからである。

［３］　スポーツ界はグローバル化を先取りしていたのかもしれない。

［４］　オリンピックは、国民国家時代の伝統を引き継ぎ、国籍主義をとっている。

［５］　今は「国籍」さえも選ぶことができるが、国籍まで変えてしまうのは、「国民国家」が存在しているという幻想を傷つけてしまう。

［６］　スポーツ界でグローバル化が進展し心理的な規制がなくなり、国籍も簡単に変える選手が続出するようになったとき、われわれはオリンピックをどのような気持ちで見るのだろうか。

■本文の要約■

スポーツ界ではグローバル化が進んでいる。国籍主義をとっていたオリンピックまで選手の流動化が進むと、国民国家が健在であるということで安心感を持つ日本人は心理的に違和感を覚え、複雑な心情を抱くに違いない。（100字）